

延岡の発展・人口増加とその課題・改善策 人文135班

竹井 珠佑, 網中 佑真, 甲斐 宥旭
延岡高等学校

Abstract 「工都 延岡」の再興と歴史・文化の保護普及を目的として、近年顕著になってきている延岡市の人口流出の原因やその改善策を考察するため、アンケートや市役所への取材を実施した。延岡市人材政策・移住定住推進室の落合氏にお話を伺ったところ、国の補助による移住のサポートを行っており、それらの制度を利用した移住者は増加傾向にあるとのことだった。また、それらから明らかになったことを踏まえ、校内の生徒、市内企業、市民一般に対してアンケート調査を行った。特に、「交通面」、「生活面」について課題を感じるという回答が多数であった。

Keyword

延岡の移住政策/延岡が現在抱えている諸課題/アンケートから見えてきた世代別、職業別の視点

1. 序論

(1) 研究背景

旭化成発祥の地として発展を遂げてきた延岡だが、かつて多くの人が行き交った山下新天街や中央通の空き店舗が徐々に減少しているなど産業は段々と衰弱し、特に2020年に始まった新型コロナウイルス感染症などによって経済に大きな影響を受けた。また、少子高齢化に加え、進学や就職を機に延岡を離れることによる人口流出が新たな課題として挙げられる。

(2) 研究の目的・意義

旭化成発祥の地として繁栄を遂げた「工都延岡」の再興と、市民のニーズを的確に捉えて行政の政策に反映する事で人口減少に歯止めをかけ、「元々住んでいる方にも、新たに延岡へ来る方にも魅力を感じてもらえるまちづくり」を推し進めるため。

(3) 研究仮説

研究を始めるにあたり、3つの仮説を立てた。

- ・大学を卒業しても就職先がないから人口が減少している。
- ・子どもが遊べる場所が限られており、子育てがしにくい。
- ・交通網が発達していないため、企業の活動がしづらい状況にある。

2. 調査方法

(1) 取材

令和6年7月下旬に延岡市人材政策・移住定住推進室の落合氏に訪問し、現在の延岡市など行政が行なっている人材確保、人口増加を目標にした政策等について質問した。(得られた回答は3.結果にて掲載)

(2) アンケート

令和6年10月30日～令和7年1月26日の期間に、本校の生徒、市民一般や地元企業にご協力いただき、アンケートを実施した。(得られた回答は3.結果にて掲載)

3. 結果

(1)延岡市人材政策・移住定住推進室の落合氏に延岡市の現在の政策等について質問を行い、以下のような回答を得た。

Q1「延岡市が最大の課題と考えているのは？」

A、大学から県外へ行き、その流れで就職をする若者の増加により、新卒者が減少していること。(県外流出)

Q2「現在、延岡市が設定している目標は？」

A目標を設定したのが前の年度。なので、目標の達成≠問題解決である。移住に関する目標は「令和3～7年で200世帯が延岡へ移住」だが、今の時点で既に達成している。

Q3「現在、延岡が注力している政策は？」

A、移住に関しては、東京一極集中を打破するために、令和2年から国の補助による移住サポートが行われていて、増加傾向にある。

Q4「人材政策・移住定住推進室がターゲットにしているのはどんな人？」

A、特に設定はしていない。支援金制度に関しては年齢制限などがあるが、適用されるか問い合わせがあれば調べたりしている。

Q5「企業の宣伝等でこれまで何人が就職した？」

A、具体的な把握はできていないが、コロナで戻る人が増えたり、大学生も増加している。
企業に関しては、課は依頼を受けたら掲載していて必ずしも登録が必要な訳ではない。(ITカレッジという講座の受講者を受け入れる企業に限っては登録が必要。現在は約4社)

Q6「今後の政策の方針は？」

A、移住に関してはさらに増加を目指す事と、移住者同士のヨコの繋がりを作る事。
人材等に関しては、人手不足を解消する為にPR活動をどうするかが重要。市役所も人手不足で、一人当たりの負担が増えている。

Q7「落合さん自身の市政への評価」

A、奨学金制度や各種支援金制度にはいろんな限界があるが、延岡市はその限界を少しでも拡大させる努力をしている。

(2)アンケート

＜対象者＞

①高校生を対象としたアンケート

回答者 103人

②市民一般を対象としたアンケート

回答者 59人

③一般企業を対象としたアンケート

回答者 228人

「延岡に魅力や誇りを感じるか」

① 感じる-61.2%

感じない-5.8%

どちらも言えない-33%

② 感じる-47.5%

感じない-13.6%

どちらも言えない-37.3%

③ 感じる-36.8%

感じない-18.9%

どちらも言えない-43%

「延岡の現状に問題を感じるか」

① 感じる-81.6%

感じない-18.4%

② 感じる-96.6%

感じない-1.7%

③ 感じる-91.7%

感じない-%

どちらも言えない-43%

「行政に最も早く取り組んで欲しい課題は？」

① 交通面-39.6%

生活面-32.7%

学業面-13.9%

福祉面-11.9%

② 交通面-48.3%

生活面-17.2%

学業面-3.4%

福祉面-20.7%

③ 交通面-36.7%

生活面-24.3%

学業面-1.8%

福祉面-26.5%

①「自分の将来就きたい職業は地元で実現できるか」

できる-70.6%

できない-29.4%

①「働けるうちに宮崎へ帰る予定の有無」

ある-60.4%

ない-39.6%

②「働けるうちに宮崎へ帰る予定の有無」

ある-7.7%

ない-42.3%

まだ決めていない-25%

③「成人してから現在まで」

これまでずっと延岡で働いている-48.7%

以前に延岡以外で働いた事がある-48.7%

③「延岡へ帰った理由は？」

結婚、長男として家を継ぐため、仕事上の理由、
帰りたいという思いがあったから、都会の生活に
疲れたから、など多くの理由が挙げられた。

③「延岡の課題だと感じる事は？」

- ・働く場所が限られており、仕事が少ない。
- ・賃金が安い
- ・シャッター街などの活用をしていない
などが挙げられた。

4. 考察

3つのアンケートに共通していた認識は

- ・交通面をはじめとして、延岡には改善すべき点がある。
 - ・どの世代も故郷に対する愛着や誇りがあり、多くの延岡出身者が帰ってくるという意思がある。
- という点だった。

5. 結論

この課題研究を通して、延岡にはさまざまな魅力や強みがあるが、それを活かし切れていないと感じられた。

行政だけでは達成することの難しい問題点も多く、我々のような若い世代の意識を変え、人口減少に歯止めをかけるべく、さまざまな選択肢を増やす必要があると考えた。

6. 関連するホームページ等

延岡市公式ホームページ

<https://www.city.nobeoka.miyazaki.jp/>

延岡市人材政策・移住定住推進室

[人材政策・移住定住推進室 - 延岡市公式ホームページ](#)